

ファンド人材育成事業(マイクロ波加熱に関する講習会)

開催の御案内

マイクロ波は赤外線や可視光線と同じ電磁波の一種であり、携帯電話等の通信分野や家庭用電子レンジの熱源としては既に広く普及しています。しかし、加熱源としての産業利用は未だに十分には進んでいないのが現状です。そこで、広くマイクロ波加熱の効果を認識していただき、県内の各種産業分野への利用拡大に繋げて行くことを目的として、下記の講習会を開催致します。なお、本講習会は平成 21 年度かがわ中小企業応援ファンド・高度技術人材育成事業の一環として昨年 9 月に開催した第 1 回目に引き続き第 2 回目として実施するものであり、今回は化学分野を中心とした基礎から実用までの幅広い内容が紹介されます。

本講習会は無料で誰でも気軽に御参加いただけます。出席希望の方は必要事項を記入の上、2 月 19 日までにお申し込み下さい。また、講演会終了後には別途懇親会(有料)も計画しておりますので、こちらの方にも奮って御参加下さい。

記

1. 開催日時 平成 22 年 3 月 4 日 (木) 13 : 20 ~
2. 開催場所 サンポートホール高松 (<http://www.sunport-hall.jp/>) 6 階No61 会議室
3. プログラム 別紙
4. 参加費 講演会(無料)、懇親会(3,000 円)
5. 参加申込方法 必要事項を記入し、e-mail または FAX にて、2/19 (金) までにお申し込み下さい。

参加者氏名(ふりがな)	_____ (_____)	
(最終)所属先名称		
e-mail		
電話番号		
講演会	出席 欠席	該当する箇所に○
懇親会	出席 欠席	
その他	ポスター発表、機器展示出展希望者は、別途事務局へ御連絡下さい	

<申込・問合せ先>

〒761-0301 香川県高松市林町 2217-43 高温高压流体技術研究所内

四国マイクロ波プロセス研究会 事務局

TEL 087-869-3440 FAX 087-869-3441 e-mail: simpi@kagawa-isf.jp

マイクロ波加熱に関する講習会

主催 財団法人かがわ産業支援財団、四国マイクロ波プロセス研究会 (SIMPI)

後援 (財)四国産業・技術振興センター (STEP)

開催日時 平成 22 年 3 月 4 日 (木) 13:20~

開催場所 サンポートホール高松・6 階 61 会議室 (<http://www.sunport-hall.jp/>)

<プログラム>

- (1) 13:20~13:30 開会挨拶 (高温高圧流体技術研究所 所長) 山下 正夫
(SIMPI 代表) 近田 司

- (2) 13:30~14:10 「並進、振動、回転励起による加熱温度と合成収率の関係から温度の概念を考える」 (信州大学 教授) 太田 和親
概要：オイルバス加熱は並進運動を、赤外線加熱は振動を、そしてマイクロ波加熱は回転運動を主に励起している。これら3つの加熱方法を用いて、同じ200度で同じ有機合成をしてその収率を比較してみる。同じ200度で合成しているにも関わらずその最高収率に大きな違いがある。このことから、温度の概念を問い直してみる。

- (3) 14:10~14:50 「触媒的な化学合成にマイクロ波を活用するための初歩的な疑問」 (岡山大学 講師) 押木 俊之
(岡山大学 助教) 村中 誠
概要：演者たちは、2年ほど前からマイクロ波の特性を活用する化学合成プロセス(水和反応)の研究に着手した。全くの初心者が装置を選ぶ段階から、実際に運用する経緯、そして実験の過程で気がついたマイクロ波プロセス特有の課題を紹介する。

- (4) 15:10~15:50 「マイクロ波加熱のものづくりへの利用」 (株式会社タケチ 常務) 篠崎 健
概要：マイクロ波加熱原理をものづくり現場に導入して40年の同社が、その間、種々の試行を経て完成させた多岐に渡るゴム部品づくりの加硫工程あるいは電波吸収体等に関して、その開発経緯を開示する。

- (5) 15:50~16:30 「マイクロ波化学合成プロセスとその実用化への課題」 (産業技術総合研究所 主任研究員) 竹内 和彦
概要：有機合成や重合プロセスへのマイクロ波の応用の現状について概説する。また、竹内研究グループで開発したポリエステル樹脂の合成プロセスについて紹介するとともに、マイクロ波化学プロセス実現への課題を述べる。

なお、講演会に引き続き、懇親会(会費:3,000円、会場:JR高松駅近辺を予定)を開催致します。